

1000万円の委託料かけた 市民病院の経営改善 令和8年に2億7千万円増目標

市民病院の経営改善項目 (R6~8)	
改善項目	改善見込み額
1 HCU適正病床数の導入	6839万4千円
2 地域医療支援病院の取得	3908万2千円
3 ベットコントロールの改善	2159万8千円
4 コメディカル部門の生産性向上	1827万2千円
5 診療報酬算定強化	1153万5千円
6 コスト削減 (薬品、委託料)	3005万円
7 看護配置7:1を10:1に	7952万6千円
合計 R5 = コロナ前に、 R6 = 病床稼働率90%に	2億6845万7千円

市長がお金優先の改革

3月23日、議会全員協議会で「市民病院の経営改善」について報告がありました。

2021年7月16日から2022年2月28日まで、市総務部の部課長5人、事務局2人、オブザーバーに市民病院課長、係長の9人でプロジェクト会議を6回開催してきました。

1000万円の委託料で、現在市民病院の改革プランの管理をしている(株)日本経営が受けていました。

市民病院は2020年から2年以上、新型コロナウイルスの患者受け入れで新規診療中止、入院制限などを行い国から10億円赤字補填を受けています。また昨年からのリニューアル設計、2022年から工事に入ります。

こうしたピンチの中で、経費削減、市からの繰り入れ金削減を目標にして病院現場そっちのけで「新自由主義」「コスト優先」のね

公立病院支える義務費

市長は「令和3年より20億円をこえる繰出しをしている」と、この「改革」を強行しました。しかし、このうち約10億円は、救急医療、看護師養成など公立病院では、不採算部門を担うための「義務的経費」です。

これを除いて、現在約8億円の基準外繰入金を令和6年から1億5千万円にする計画にしました。けれども年間2億7千万円の増収しか計画出来ませんでした。

「病院会計はむずかしい」市長弁

市長は最後に「国の制度、診療報酬など病院会計はむずかしい」と本音を吐露。中小企業診断士の「費用対効果」ではよりよい市民病院にはできません。

良いリフォームで患者確保を

圧倒的な「安心感」を市民に提供している

10体1体制で23人の看護師減

改善は11の同規模病院を比較し、7つの改善目標を決めました。この中に現在の入院基本料を7対1を10体1に引下げ、看護師23人を減らす計画があります。1人年間600万円を1億3800万円を削減するとしています。

これでは、看護師の労働強化、看護を薄めることとなります。またリハビリ強化で1803万円。亀井院長は「現在16名のスタッフで行っているリハビリは医療費に反映しない作業療法など残業してめいっばい頑張っている」と。現場を見ていない分析があらわになりました。

基準内繰入金は

市民は「令和3年より20億円をこえる繰出しをしている」と、この「改革」を強行しました。しかし、このうち約10億円は、救急医療、看護師養成など公立病院では、不採算部門を担うための「義務的経費」です。

これを除いて、現在約8億円の基準外繰入金

市民病院特別委員会の設置検討へ

碧南市議会では、3月23日の病院経営改革の報告や、リニューアル、コロナ対応などに対してもっと情報を共有しより良い病院に・・・と来期から病院特別委員会の設置をと会派会長会議が3月23日に開かれました。

日本共産党は「現場で起こっている困難を共有して、市議会も熱い思いで受け止めていることが伝わるようにしたい」医師や看護師などが「碧南市民病院で働きたい」と思っていただけのようにしたい。と賛成しています。いったん各会派に持ち帰って次回に決定します。

ウクライナに20万円の支援金

碧南市議会では、3月8日の「ロシアのウクライナ侵攻についての決議」を行ったことに関して、市議会として20万円を日本赤十字を通じてウクライナに支援金として送ることにしました。

碧南市民病院。コロナ禍も感染者受け入れ、ワクチン接種など自治体病院を持つ碧南市の強味が発揮されました。コスト優先で国と市と一緒にあって、公立病院統廃合、特別行政法人化、企業会計全部適応などの「自前であれ」の病院つぶしが自公政治の元、進んでいきます。日本共産党は、今こそ公立病院守れ「統廃合計画の撤回を」と市民のみなさんと力を合わせます。



衣浦衛生組合議会 岡本守正議員が質問

衣浦衛生組合の3月議会が、29日(火)午前10時から行われます。日本共産党岡本守正は一般質問や予算審査で市民要求を届け実現のためにがんばります。

一、衣浦衛星組合地方債の現在高は

①約40億円の債務の返済計画について

二、クリーンセンターの基幹改良工事について

①工事の規模と期間、総事業費は

②CO2の削減設備は

③プラスチック資源循環促進法が昨年成立した。その対応は。

「市民を殺すな」「国連憲章まもれ」
みんなで声をあげ
国際世論でロシア包囲を

どうやって戦争を止める？プーチンがもっとも恐れているのが「国際世論」で包囲されることです。いま世界中で市民が声をあげ、141もの国ぐにが国連の非難決議に賛成し、ロシアの侵略に立ちはだかっています。これこそ戦争を止める力です。

唯一の戦争被爆国として 核兵器なくす先頭に

「核のおどし」など通用しない世界をつくるため、日本政府は核兵器禁止条約に参加し、核兵器をなくす先頭にたつべきです。

「核の共有」を言い出した安倍元首相や維新の会。「核には核を」というプーチンと同じ立場にたつもので、被爆国の政治家、政党として失格です。

憲法9条もつ国として 非軍事の支援に全力を

いま日本には、9条の国にふさわしく非軍事の支援こそ求められています。国連決議を棄権した中国などの国ぐににロシア非難で一致するよう働きかけるなど、日本政府は外交努力をつくすべきです。



国連難民高等弁務官事務所(UNHCR)のナツケン健部駐日首席副代表(右)、国連UNHCR協会の川合雅幸事務局長(中央右)に募金を手渡す志位和夫委員長と田村智子副委員長(左)=3月10日、東京都内

国連機関に募金届ける

ウクライナ侵略やめろー 19行動で訴え

3月19日ピアゴで19行動を行いました。8人参加で24名の憲法改悪反対の署名が集まりました。「早く戦争やめてほしい」とカンパもいただきました。

年金者組合の参加者はプーチン宛に自分でつづった抗議文書を送りました。文面を読み上げられました。次々ハンドマイクで戦争やめよと訴えました。

戦争反対
ロシアはウクライナから撤退を



三、衣浦斎園火葬棟と待合棟をつなぐ通路の強風対策を

①寒い渡り通路の対策を

④太陽光発電の設置状況と効果は
⑤施設全体での、今後の増設計画は



改良工事が計画された焼却施設
クリーンセンター

日本共産党碧南市委員会



市議会議員
山口はるみ
☎42-8940
三度山町 2-70-4



市議会議員
岡本守正
☎41-5357
笹山町 6-29



市民運動部長
磯貝明彦
☎48-2718
若松町 3-253

戦争法廃止 改憲許すな19行動

3月19日 (土曜日)
午前11時~12時
ピアゴ碧南東店
東浦町6-17 (日進小学校南)



日本共産党碧南市議会議員団のホームページをごらんください。

新しい日本をつくる五つの提案
○新自由主義から転換し格差を正し暮らし家計応援第一の政治
○憲法を守り、立憲主義・民主主義・平和主義を回復する
○権主義への従属・屈服外交から抜け出し、自主・自立の平和外交に転換
○地球規模の環境破壊を止め、自然と共生する経済社会をつくる
○ジェンダー平等社会の実現、多様性を大切にし個人の尊厳を尊重する政治